

Title	太宰治スタディーズ 第5号 目次
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2014, 5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97197">https://hdl.handle.net/11094/97197</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

「太宰治スタディーズ」第5号（2014.06） 目次

イントロダクション——単行本という〈俯瞰者〉の目

長原 しのぶ 4

小特集 単行本発行と出版社——その戦略と特徴

- 「朝日新聞社」井原あや／「小山書店」井原あや／「河北新報社」内海紀子／「河出書房」内海紀子  
 「実業之日本社」小澤純／「新潮社」斎藤理生／「生活社」滝口明祥／「筑摩書房」長原しのぶ  
 「博文館」平浩一／「文藝春秋社」平浩一／「八雲書店」吉岡真緒／「若草書房」吉岡真緒  
 「錦城出版社」大國眞希／「月曜荘」大國眞希／「昭南書房」小澤純／「新紀元社」斎藤理生  
 「竹村書房」長原しのぶ／「人文書院」滝口明祥／「中央公論社」野口尚志／「利根書房」野口尚志  
 「砂子屋書房」松本和也／「肇書房」松本和也

総特集 単行本から読み解く太宰治——研究論文

- 野口 尚志 太宰治「二十世紀旗手」論——「市民」の芸術と「ジャアナリスト」—— 52  
 小澤 純 多重化する〈私〉の再配置——創作集『東京八景』を読む 68

- 井原 あや 「ろまん」の灯が照らす先——太宰治『千代女』を読む  
 長原しのぶ 『人間キリスト記』から「駆込み訴へ」へ——その受容のあり方を探る——  
 大國 眞希 「右大臣実朝」——失われし首を求めて——  
 松本 和也 戦略としての話法——太宰治『佳日』という書物  
 吉岡 真緒 太宰治「お伽草紙」論——「お伽草紙」のコンストラクション  
 滝口 明祥 滑稽な〈男〉たちの物語——太宰治『パンドラの匣』  
 斎藤 理生 「河北新報」のなかの『パンドラの匣』  
 内海 紀子 アナロジ―と主体——戦時下のレトリック空間と太宰治

## 書評

斎藤理生著 『太宰治の小説の〈笑い〉』（双文社出版）

木田 隆文

著者紹介・編集後記

183

180

166 152 138 126 116 109 93 80